

# M2 The Media Marketplace

## PDFデータ入稿チェックシート

ご入稿の前に必ず、プレビュー用に提供しているアプリで表示に問題がないことをご確認ください。

### 【プレビュー用アプリダウンロード】

<http://bookend.keyring.net/download/preview.html>

※iOS 用のアプリで表示ができることをご確認ください。

※ページの読み込みが遅い場合は、「[ページを画像化したPDFを作成する](#)」をお試しください。

M2用のPDFデータ入稿時は以下の最終チェックをお願いいたします。

【必須】 チェック項目		チェック
1.	互換性のある形式: Acrobat5.0以上で保存されている	
2.	パスワードによる暗号化をしていない	
3.	全ての画像の透明効果が分割・統合されている	
4.	仕上がりサイズでトリミングされている(トンボ・塗り足しは不要)	
5.	カラー設定がRGBになっている(詳細は <a href="#">ドキュメントのカラー設定</a> をご覧ください)	

【推奨】 チェック項目		チェック
1.	1コンテンツのサイズが30MB以下である。 ※スマートフォンでダウンロードして閲覧する場合に推奨	
2.	画像解像度が調整されている 【推奨】カラー/グレースケール:150~300dpi モノクロ2値:600~1200dpi ※圧縮方法はダウンサンプル(バイキュービック法)、JPEG圧縮を選択	
3.	見開きページの場合 左右各1ページずつの状態になっている	
4.	全てのフォントが埋め込まれている、もしくはアウトライン化されたデータをもとにPDF化している	

## ドキュメントのカラー設定(RGB)

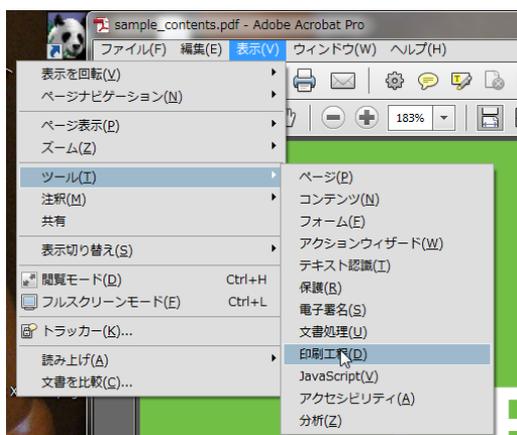
iPad , iPhoneなどiOS端末でCMYK設定のPDFを開くと色味がおかしくなる場合があります。

元が印刷用データでCMYK設定になっているPDFは、iOSで正しく表示するためにRGB設定にしてください。

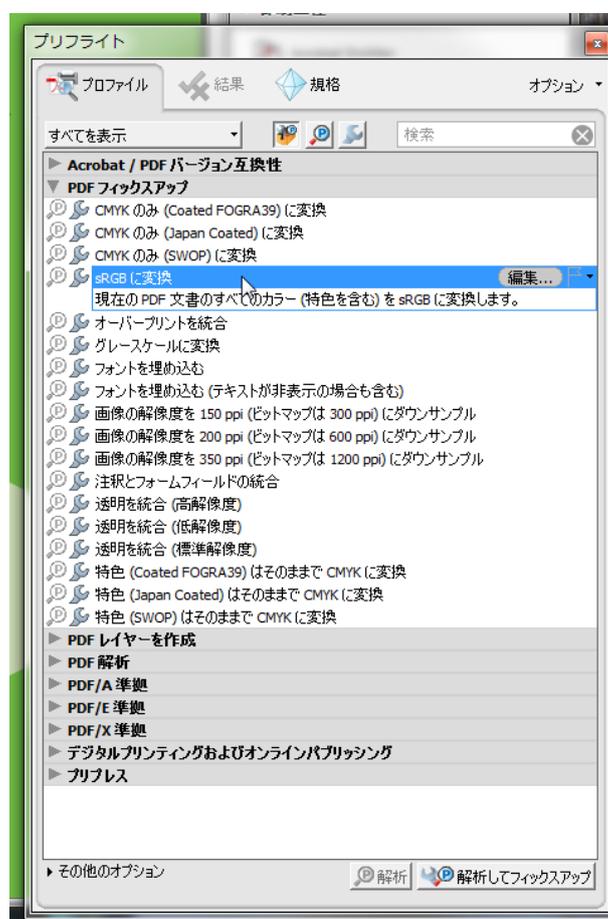
### ■ Acrobat Xで RGB に設定する場合

CMYK設定のPDFをRGBに変換するには [ツール] > [印刷工程]>[プリフライト]を使用します。

1. [ツール] > [印刷工程] で [印刷工程] パネルを表示します。
3. PDFフィックスアップで [sRGBに変換]を選択し [解析してフィックスアップ] を実行してファイルを保存します。



2. [プリフライト]を選択してプリフライトパネルを表示します。



### ■ IllustratorなどからPDFに書き出す前にRGB設定に変更する場合

Illustrator上などでPDFに書き出す前にCMYKからRGBに変更するには[ファイル]>[ドキュメントのカラーモード]>[RGBカラー]に設定してください。

## ページを画像化したPDFを作成する

PDFのページが表示されるまでに時間がかかる原因には様々な場合があり、対策も異なります。

もし、ちらし・雑誌などレイアウトが複雑なPDFで、1.iOS,Androidなどの端末で表示した際に、ページの読み込みが極端に遅い、2.PDF自体のファイルサイズは小さいのに、レイアウトが複雑でオブジェクト数が非常に多い 場合は、以下の方法でPDFを作成しなおすと表示が早くなります。

ただし、以下の方法はPDFの各ページを1枚ずつの画像にした後、それらをまとめて再度PDFに保存しなおす方法ですので文字データは失われます。文字データが必要のないコンテンツの場合お試しください。

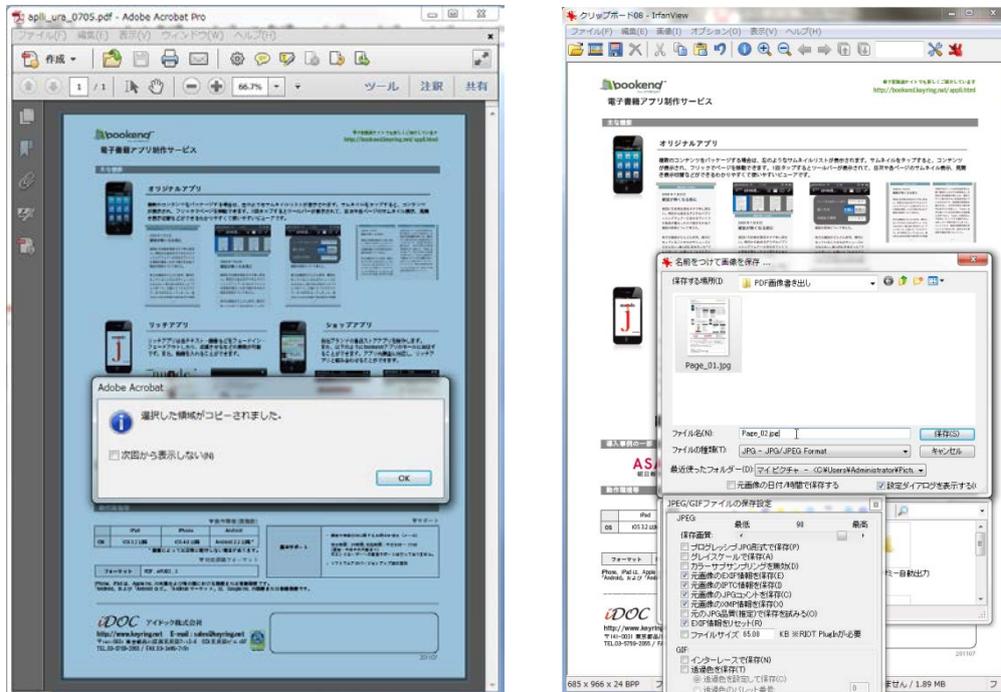
### ■ Acrobat Xでページを画像化したPDFを作成する

1. PDFファイルを表示し、ページ全体のスナップショットを撮ります。

ツールバーのスナップショットアイコン>スナップショットの領域でページ全体を選択



選択した領域がコピーされたら、画像ソフトなどに張り付けてJPEG形式で保存



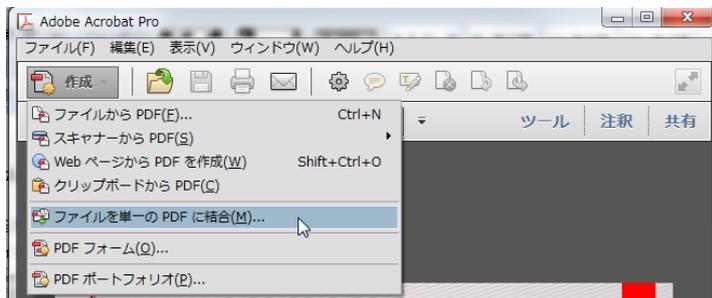
同様に全ページのJPEGを保存します。

※画面に表示したままのサイズがスクリーンショットとして撮られます。高画質が必要な場合は表示サイズを大きくしてください。

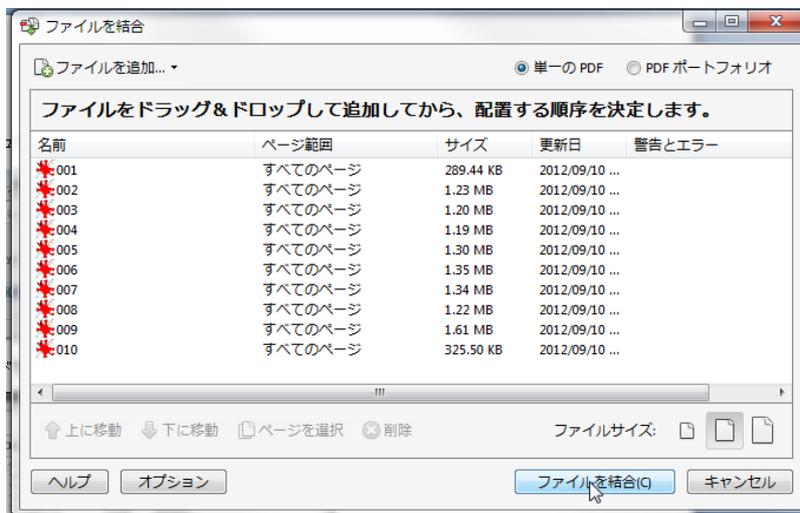
※上記のサンプル程度のレイアウトでページの読み込みが遅くなることはありません。

2. 保存した複数のJPEGをひとつのPDFにまとめます。

ツールバーの作成メニューから>ファイルを単一のPDFに結合を選択



JPEGファイルをすべてドラッグ、ページの順番を確認して「ファイルを結合」



3. 保存して完了です。

目次を付けるには しおり>各ページのしおり名の変更 を行ってください。

